

一・二級小型船舶操縦士学科試験

一般科目 (問1～問50)

問題

受験番号

【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

【二級受験者の受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	一般科目 (問1～問50)	1時間10分
二級(1海里限定) 特殊	交通の方法・運航 (問13～問50)	55分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

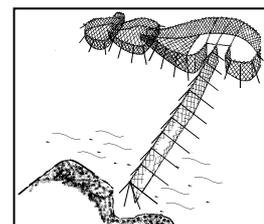
- (1) 水上では、陸上よりも気象の変化による影響を受けやすいことに注意する。
- (2) 水面下の障害物は簡単に見つけられるので、航行中はハンドル操作に集中する。
- (3) 無線機や携帯電話を持っていないと、緊急時に陸上と連絡が取れなくなるので注意する。
- (4) あらゆる方向から船が近づいてくることがあるので、常に適切な見張りをする。

問2 小型船舶の船長が、漁船について知っておかなければならない事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 操業の形態は、漂泊びょうはくをしていたり錨泊びょうはくをしていたりさまざまである。
- (2) 1隻で操業している場合も、集団で操業している場合も漁具は必ず船尾から引いている。
- (3) 網を揚げている間はほとんど動かないので、すぐ近くを通過することができる。
- (4) 自船の進路上にいる場合は、早めに汽笛などを鳴らして避航を求める。

問3 右図に示す「定置網漁業」に使用する網について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 魚群が回遊する水域に、比較的長い期間にわたって設置される。
- (2) 目印のブイを避ければ、網の上を航行することができる。
- (3) 本体と陸岸の間に設置された網により、魚を誘い込む。
- (4) 大規模なものから小規模なものまで、大きさはさまざまである。



問4 プレジャーボートの衝突事故の主な発生原因である「見張り不十分」に該当しないものは、次のうちどれか。

- (1) 自船の位置を確認せず、予定していたコースから外れて航行した。
- (2) 他船に気を取られて、衝突の危険がある船舶に気付かなかった。
- (3) 自船の船体の死角に入っていた船舶を見逃した。
- (4) ある一方向のみを、ただぼんやりと見ていた。

問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反しないものは、次のうちどれか。

- (1) 船体識別番号を塗りつぶした。
- (2) 通知を受けた船舶番号を船体に表示した。
- (3) 登録を受けていない小型船舶を航行させた。
- (4) 小型船舶を譲り渡すときに譲渡証明書を交付しなかった。

問6 不要になった船の処理方法を確認するときの問合せ先として適切でないものは、次のうちどこか。

- (1) 消防署
- (2) 海上保安庁
- (3) 地方自治体
- (4) マリーナ

問7 小型船舶の船長が航海計画を立てる場合の心得として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) その船が出せる最高速度をもとにして計画を立てる。
- (2) 暗礁あんしょうの多い水域から十分に離れたコースを設定する。
- (3) 天候が悪くなったときのための避難港を選んでおく。
- (4) できるだけ夜間の航海をしないように計画を立てる。

問8 プレジャーボートの保険について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) プレジャーボートの保険は全て任意保険であり、強制保険はない。
- (2) 船外機を使用して航行するボートは、保険に加入することができない。
- (3) 水上オートバイは、保険に加入することができない。
- (4) プレジャーボートの保険では、搭乗者に対する補償は受けられない。

問9 小型船舶の船長の遵守事項に定められた「自己操縦」について述べた次の文の、(ア)及び(イ)の中に当てはまる適切な語句の組合せは、下のうちどれか。(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

「小型船舶の船長は、(ア)に基づく港の区域や(イ)に基づく航路を航行するときは、自ら船を操縦しなければならない。」

- (1) (ア)：港則法 (イ)：海上交通安全法 (2) (ア)：船舶安全法 (イ)：海上衝突予防法
(3) (ア)：港則法 (イ)：海上衝突予防法 (4) (ア)：船舶安全法 (イ)：海上交通安全法

問10 一級小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 16 歳 (2) 17 歳 (3) 18 歳 (4) 20 歳

問11 小型船舶の両船側に貼られた次のステッカーに含まれていないものは、下のうちどれか。



- (1) 船舶検査済票 (2) 船舶番号 (3) 船体識別番号 (4) 次回検査時期指定票

問12 油や廃棄物を海洋に排出することが特別に許されるのはどのような場合か。次のうちから選べ。

- (1) 油水分離器を通さないビルジの排出 (海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律)
(2) 軽油やガソリンのような粘度の低い油の排出
(3) 船舶の安全を確保するための廃棄物の排出
(4) 海底に沈んでしまうような廃棄物の排出

【交通の方法】

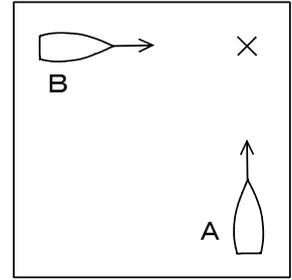
問13 夜間、航行中の2隻の動力船が、それぞれの船首方向に他の動力船のマスト灯、右舷灯及び左舷灯を認め、衝突するおそれがあるときは、どのような航法をとらなければならないか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 互いに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(2) 互いに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
(3) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。
(4) 遅いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

問14 夜間、航行中のA動力船が、その真後ろに他の動力船のマスト灯、右舷灯及び左舷灯を認め、衝突するおそれがあるとき、A船はどのような航法をとらなければならないか。次のうちから選べ。

- (1) 針路を右に転じなければならない。(海上衝突予防法)
(2) 針路を左に転じなければならない。
(3) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。
(4) 速力を増して、他の動力船から遠ざからなければならない。

問15 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り×印の付近で衝突するおそれがあるとき、A船はB船の短音1回の汽笛信号を聞いた。この場合、A船がとらなければならない航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

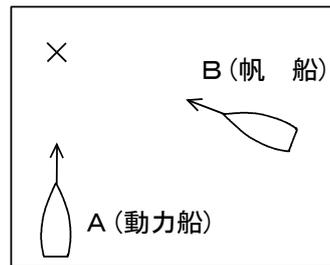


- (1) 短音1回の汽笛信号を行って、Bの信号に応答する。
- (2) 機関を後進にかけて、急速に短音5回の汽笛信号を行う。
- (3) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (4) 針路を左に転じ、長音2回の汽笛信号を行う。

問16 海上衝突予防法の規定による「保持船」に該当しないものは、次のうちどれか。

- (1) 帆船に追い越される動力船
- (2) 左舷さげんに見る帆船の進路を横切る動力船
- (3) 動力船の進路を横切る操縦性能制限船
- (4) 動力船と行き会う漁ろうに従事している船舶

問17 航行中の2隻の船舶が、右図に示す状況において×印の付近で衝突するおそれがある場合に適用される航法は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) 帆船の航法
- (2) 横切り船の航法
- (3) 各種船舶間の航法
- (4) 追越し船の航法

問18 安全な速力について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

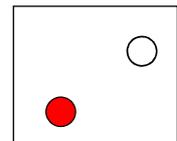
- (A) 適切かつ有効な避航動作をとることができる速力をいう。 (海上衝突予防法)
- (B) そのときの状況に適した距離で停止することができる速力をいう。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問19 視界制限状態における航法について述べた次の文の()の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。 (海上衝突予防法)

「動力船は、視界制限状態においては、()しておかなければならない。」

- (1) 他船と連絡が取れるように
- (2) 機関を直ちに操作できるように
- (3) 直ちに測深できるように
- (4) いつでも投錨とうびょうできるように

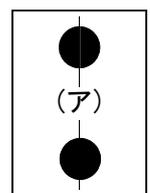
問20 夜間、航行中のA船は、前方に右図に示すような灯火を表示しているB船を認めた。この場合、A船から見てB船は、どのように航行していると判断したらよいか。次のうちから選べ。ただし、○は白灯、●は紅灯とする。



- (1) 左舷側さげんを見せて右から左へ航行している。 (海上衝突予防法)
- (2) 右舷側を見せて左から右へ航行している。
- (3) 正面を見せてこちらに向かっている。
- (4) 船尾を見せて航行している。

問21 右図は、昼間、操縦性能制限船が表示している形象物である。図中、(ア)の位置の形状は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) (2) (3) (4)

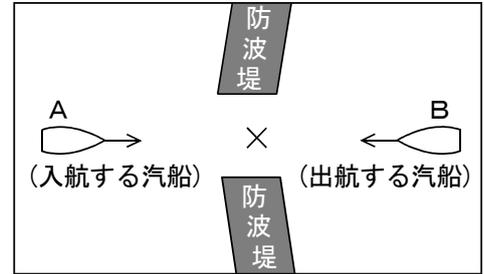


問22 船舶が遭難して救助を求める場合の信号として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 無線電話による「メーデー」という語の信号 (海上衝突予防法)
- (2) 縦に上から国際信号書に定めるU旗及びW旗を表示することによる信号
- (3) 左右に伸ばした腕を繰り返しゆっくり上下させることによる信号
- (4) オレンジ色の煙を発することによる信号

問23 右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が×印の付近で出会うおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) A、Bともに右側に寄って航行する。
- (2) A、Bともに左側に寄って航行する。
- (3) Aは防波堤の外でBを避け、Bはそのまま出航する。
- (4) Bは防波堤の内側でAを避け、Aはそのまま入航する。



問24 「汽艇等」について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(港則法)

- (1) 港内であれば、どのような場所に停泊してもよい。
- (2) 港内であれば、どのような場所で漁ろうしてもよい。
- (3) 港内にある係船浮標であれば、いつでも係留してもよい。
- (4) 特定港に出入するときは、航路を航行してもよい。

問25 海上交通安全法で定める航路における一般的な航法として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 航路を横断する場合は、できる限り直角に近い角度で、すみやかに横断しなければならない。
- (2) 航路では、海難を避けるときや、他の船舶を救助するときなどを除いて、^{びようほく}錨泊してはならない。
- (3) 航路外から航路に入ろうとする船舶は、航路をこれに沿って航行している船舶の進路を避けなければならない。
- (4) 長さ12メートル未満の船舶は、定められた地点間を航行するときは、航路を航行してはならない。

問26 河川や湖沼^{こしやう}における船舶の交通ルールについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 国土交通省が河川法に基づき、船舶の通航方法を定めている水域がある。
- (2) 地方自治体が条例に基づき、船舶の通航を制限している水域がある。
- (3) 地方自治体が条例に基づき、航行する船舶の騒音を規制している水域がある。
- (4) 国土交通省が海上衝突予防法に基づき、違反者の取締りを行っている水域がある。

【運航】

問27 高速航行中の滑走型船(ディープV型)がハンドルを右に切って旋回する場合、船体の傾きと速力はどうなるか。次のうちから最も適切なものを選び。

- (1) 左舷側に傾き、速力は低下する。
- (2) 左舷側に傾くが、速力は変わらない。
- (3) 右舷側に傾くが、速力は変わらない。
- (4) 右舷側に傾き、速力は低下する。

問28 ^{びようほく}錨泊中に走錨していると判断できる状態は、次のうちどれか。

- (1) アンカーロープが張ったりゆるんだりする。
- (2) 風を常に片舷^{かたげん}方向から受けている。
- (3) 船体が、ほぼ規則的に振れ回っている。
- (4) アンカーロープに触っても、振動が感じられない。

問29 航行中、普段よりも船体の横揺れ周期が短い場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) 荷物を船首付近に多く積みすぎた。
- (2) 荷物を船尾付近に多く積みすぎた。
- (3) 荷物を高い場所に多く積みすぎた。
- (4) 荷物を低い場所に多く積みすぎた。

問30 沿岸航行中、濃霧となった場合の対処として適切でないものは、次のうちどれか。

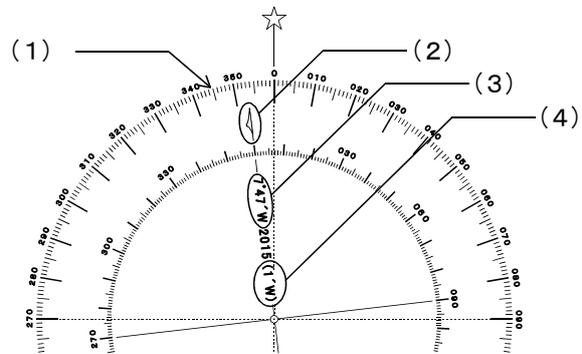
- (1) いつでもエンジンを操作できるようにしておく。
- (2) 陸岸の近くであれば、停船して水深を測る。
- (3) 船位が不明になったら、投錨して視界の回復を待つ。
- (4) 風が吹き始めたら、風下の方へ向かって航行する。

問31 小型船舶で水上スキーやウェイクボードを引く場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) プレーヤー(引かれる者)を船内に收容するときは、エンジンをかけたままにしておく。
- (2) トーイング中の周囲の見張りは同乗者が行き、操縦者は操船に集中する。
- (3) 高速より低速の旋回のときのほうが、プレーヤーが外側に振られやすい。
- (4) トーイングロープを回収するときは、プロペラに巻き込まないように注意する。

問32 右図に示すコンパス図の説明として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 磁針方位を表す。
- (2) 真北を表す。
- (3) 偏差を表す。
- (4) 自差を表す。



問33 緯度と経度の定義について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

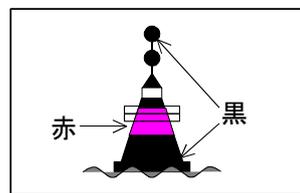
- (A) 緯度は、地球上の任意の地点が赤道からどれくらい離れているかを表し、赤道を基準にして南北にそれぞれ90度まで示す。
- (B) 経度は、地球上の任意の地点が本初子午線(経度0度の経線)からどれくらい離れているかを表し、本初子午線を基準にして東西にそれぞれ180度まで示す。

- (1) (A)だけ正しい
- (2) (B)だけ正しい
- (3) ともに正しい
- (4) ともに誤っている

問34 右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、赤、黒は標体の塗色を表す。

- (1) 右舷標識
- (2) 左舷標識
- (3) 孤立障害標識
- (4) 安全水域標識



問35 次の灯略記のうち、「単明暗光」を表すものはどれか。

- (1) Fl
- (2) Oc
- (3) Al
- (4) F

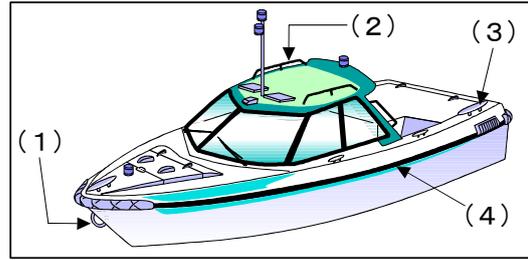
問36 海図に記載されている海岸線は、どの水面における海と陸との境界を示したもののか。次のうちから選べ。

- (1) 最低水面
- (2) 平均水面
- (3) 中間水面
- (4) 最高水面

問37 海図図式「R」(底質)が表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 泥 (4) 岩

問38 右図は、小型船舶を斜め前方から見た略図である。「ガンネル」は、図中(1)～(4)のうちどれか。



問39 8の字結び(エイトノット)の利用用途として適切なものはどれか。次のうちから選べ。

- (1) アンカーロープをアンカーリングに結び付ける場合
 (2) ロープが滑車から抜けるのを防ぐ場合
 (3) 異なる太さの2種類のロープをつなぐ場合
 (4) 同じ太さの2種類のロープをつなぐ場合

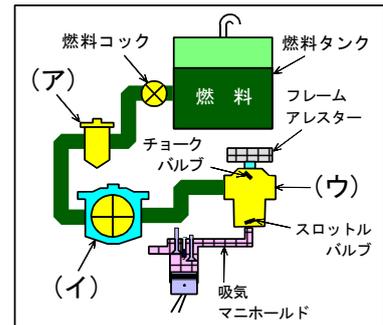
問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適切でないものはどれか。

- (1) 係留ロープに傷やほつれがない。 (2) 船体に亀裂や傷がない。
 (3) エンジンルームが密閉してある。 (4) ハッチが閉じてある。

問41 右図は、ガソリンエンジンの燃料系統を示した略図である。

図中(ア)、(イ)、(ウ)の名称の組合せとして正しいものは、下のうちどれか。

- | | | |
|-------------|---------|---------|
| (ア) | (イ) | (ウ) |
| (1) 燃料フィルター | 燃料ポンプ | キャブレター |
| (2) 燃料ポンプ | キャブレター | 燃料フィルター |
| (3) 燃料フィルター | キャブレター | 燃料ポンプ |
| (4) 燃料ポンプ | 燃料フィルター | キャブレター |



問42 バッテリーとエンジンオイルの点検要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

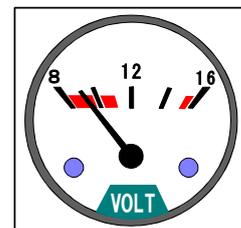
- (1) バッテリーのプラスのターミナルとプラスのケーブルが接続していることを確認する。
 (2) バッテリー本体がしっかりと固定されていることを確認する。
 (3) オイルフィルターの取付け部にオイル漏れがないことを確認する。
 (4) エンジンオイルの量が、オイルレベルゲージの根元までしっかりあることを確認する。

問43 エンジンの始動、暖機及び停止要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船外機船と船内外機船は、チルトアップしてからエンジンを始動する。
 (2) ディーゼルエンジンは、必要に応じて予熱を行ってからエンジンを始動する。
 (3) 冷却水温度計の示度や警報装置の状態を確認しながら、暖機運転を行う。
 (4) 必要に応じてアイドル状態で冷機運転を行ってから、エンジンを停止する。

問44 ガソリンエンジンを運転中、電圧計が右図のような値を示した場合の原因として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 点火コイルの故障
 (2) オルタネーターの故障
 (3) スターターモーターの故障
 (4) ディストリビューターの故障



問45 エンジンの部品交換について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 防食亜鉛は、厚みや大きさが半分程度に減ったら交換する。
- (2) エンジンオイルは、あまり汚れていなくても一定期間がたてば交換する。
- (3) バッテリーは、充電してもすぐに上がってしまうようであれば交換する。
- (4) Vベルトは、スターターモーターの作動がにぶいようであれば交換する。

問46 前線の記号とその名称を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1)  寒冷前線
- (2)  停滞前線
- (3)  温暖前線
- (4)  閉塞前線

問47 風について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 気圧の低い所から高い所へ向かって吹く。
- (2) 一般に、等圧線の間隔が広い所ほど強く吹く。
- (3) 風向とは、風の吹いて行く方向で表す。
- (4) 風速は、通常、1秒間に空気が移動する距離をメートル毎秒で表す。

問48 潮流について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 潮汐^{ちようせき}によって生じる海水の周期的な流れを潮流という。
- (2) 流速は、同じ場所では、潮差の大きい日ほど速い。
- (3) 流速は、同じ日でも場所によって違ってくる。
- (4) 潮流の流向とは、流れてくる方向で表す。

問49 荒天時の操縦について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

「追い波を受けて航走するときは、船体が波に横たわり転覆する危険のあるブローチングを避けるため、波の()にとどまるように速力を調整する。」

- (1) 頂上
- (2) 上り斜面
- (3) 下り斜面
- (4) 谷間

問50 落水者を救助した場合の応急処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 意識があるかどうか、外傷があるかどうかを確認する。
- (2) 呼吸がない場合は、回復体位をとらせて経過を観察する。
- (3) 水分を拭き取り、毛布などを使用して体温の低下を防ぐ。
- (4) 意識が戻っても、安静にさせて観察を続ける。